

【エクアドル内政・外交：2014年2月】

1. 内政

(1) コレア大統領の一時離職

5日、コレア大統領は、17日から20日まで選挙応援のため大統領職を一時的に離れる旨国会に申請し認められた。コレア大統領の一時離職中はグラス副大統領が代理を務めた。

(2) 地方選挙の実施

23日、地方選挙が行われ、県知事(23名)、副知事(23名)、市長(221名)、市議会議員(1,305名)、町議会議員(4,079名)、の計5,651名が選出された。

全国23県で実施された県知事選では、与党AP候補者は10の県で選出されたが、主要都市の市長選では、与党APの候補者は、キト市、グアヤキル市、クエンカ市、サント・ドミンゴ市、マンタ市をはじめとする主要都市で敗北した。

2. 外交

(1) ベネズエラ抗議デモに対するエクアドル政府の対応など

(ア) 12日、エクアドル外務省は、ベネズエラでの抗議デモを支持しないとのコミュニケを発表した。

ア エクアドル政府は兄弟国ベネズエラの無責任な野党によって引き起こされた暴力・破壊行為によって、少なくとも2名が死亡し、多くの負傷者、カラカスの物質的損害が出たことを非難する。

正統に選出された政府に対する敬意に基づき、同国の社会的平穏が再構築されることを願う。

イ また、エクアドル政府はベネズエラに連帯の意を表し、野党が組織している暴力行為に立ち向かうマドゥーロ大統領への全面的な支持を表明する。

(イ) コレア大統領は、18日、「ベネズエラ野党は、マドゥーロ政権を動揺させるため、メディアとともに暴力を生み出している。もし2月23日のキト市長選で右派候補者(マウリシオ・ロダス候補)がアウグスト・バレラ現市長(AP)に勝利したらエクアドルでも同様の事態が引き起こされる可能性がある」と述べた。